

《担当者名》 近藤 啓 遠藤輝夫 吉田 繁 松尾淳司 丸川活司 高橋祐司 高橋祐輔 山崎智弘 江本美穂 小野誠司  
沖野久美子

## 【概要】

臨床検査技師は様々な検査を行うことから仕事内容に対するイメージが掴みづらい。今後、専門科目を効率よく学ぶためには臨床検査をよく理解しておく必要がある。本講義では、臨床検査技師としての現場経験のある教員を中心に、各種検査の概要と意義を学び、臨床検査の全体像を把握する。さらに、病院内における様々な職種の実際の現場を見学し、臨床検査の役割および医療現場についてより理解を深めることを目的とする。

## 【学修目標】

- 1) 臨床検査に必要な知識を習得するために、各種臨床検査の内容と意義を理解する。
- 2) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解するために、病院内における各部署の業務内容およびその繋がりを学ぶ。
- 3) 医療現場における臨床検査の意義について説明できる。
- 4) 医療現場における臨床検査技師の役割を説明できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	・臨床検査学入門Iの概要、進め方 ・臨床検査および臨床検査技師とは キーワード：臨床検査技師、臨床検査、検体検査、生 理機能検査	近藤 啓
2	医療現場における臨床検査技師の意義と検査技師の使命	・病院、診療所、衛生検査所の違いと病院の機能・組織 ・国家資格を有する者の業務は法令により定められているところについて ・国家資格を有することで行える基本的業務 ・国家資格を有した後も、専門分野の資格を取得することで活躍の場が増えることについて ・医療現場における臨床検査の意義と臨床検査技師の使命 ・臨床検査技師がかかわるチーム医療 キーワード：臨床検査技師等に関する法律と国家資格取得要件、臨床検査技師業務と医師の指示との関係、病院・医院と登録衛生検査所（検査センター）の違い、多職種連携・地域連携とこの大学で学べるメリット	遠藤輝夫
3	臨床化学検査、輸血・移植検査	・臨床化学検査とは ・輸血・移植検査とは ・臨床化学検査、輸血・移植検査を行う上での臨床検査技師の役割と責任 キーワード：肝機能検査、腎機能検査、輸血、臓器移植	高橋祐司
4	一般検査	・一般検査とは ・医療における一般検査の役割 ・一般検査をおこなう上での臨床検査技師の役割 キーワード：尿検査、糖尿病、便潜血、癌	吉田 繁
5	遺伝子・染色体検査	・遺伝子検査について ・染色体検査について ・医療における遺伝子・染色体検査の役割 ・遺伝子・染色体検査をおこなう上での臨床検査技師の役割 キーワード：遺伝子、染色体、ゲノム医療、遺伝子分析科学認定士	吉田 繁

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
6	感染症の検査	・感染症を引き起こす病原体の種類 ・病原体に応じた検査法の選択 キーワード：細菌、真菌、ウイルス、寄生虫	松尾淳司
7	微生物学検査	・病原微生物を取り扱う上で必要な知識 ・細菌検査の概要 キーワード：バイオセーフティレベル、無菌操作、培養と同定、薬剤感受性	山崎智拓
8	血液学、免疫学検査	・血液学および免疫学的検査の概要 ・実際の医療機関でのこれら検査の役割や重要性 キーワード：血液疾患、血液学的検査、自己免疫疾患、免疫学的検査	高橋祐輔
9	医用工学、医療情報学	・医用工学や医療情報学の概要 ・それが臨床検査の現場でどのように活用されるかについて キーワード：医用工学、生体情報、生体計測、情報科学	江本美穂
10	神経生理学検査	・現状での神経評価に必要な多岐にわたる検査の機器と検査の種類 ・それら検査の正常異常の評価、病態など キーワード：神経機能評価、中枢神経、加算平均法、近接電場電位・遠隔電場電位	小野誠司
11	画像診断学検査	・各臓器（循環器・呼吸器・消化器）の病態 ・それらに関連する画像診断学検査の種類および概要 キーワード：循環器系検査、消化器系検査、呼吸器系検査、超音波検査学	沖野久美子
12	病理組織・細胞学的検査	・病理組織・細胞学的検査の概要と実際の現場 ・病理検査室での検査技師の役割 キーワード：組織診断、細胞診断、分子病理診断、標本作製	丸川活司
13	病院見学	・北海道医療大学病院の見学 ・病院内での臨床検査の重要性 ・その他部署での業務内容および病院内での繋がり キーワード：歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語療法士、看護師、歯科衛生士、放射線技師	近藤 啓 ほか
14	病院見学	・北海道医療大学病院の見学 ・病院内での臨床検査の重要性 ・その他部署での業務内容および病院内での繋がり キーワード：理学療法士、作業療法士、薬剤師、放射線技師、言語療法士、看護師、歯科医師、歯科衛生士	近藤 啓 ほか
15	まとめ	・各講義、病院見学で学んだことを生かして、与えられた課題についてグループ討議 キーワード：これまでの各キーワードを参照	近藤 啓

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

課題レポート 100%

#### 【教科書】

その都度プリントを配布する。

#### 【備考】

クリッカーを使用した双方向型授業を行う。

アクティブ・ラーニングとして第15回にはグループワークを行う。

**【学修の準備】**

授業に関するキーワードについて調べて予習しておくこと（80分）

講義で用いた資料に関して復習し、要点をまとめる（80分）

**【ディプロマポリシーとの関連性】**

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

（DP3）保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

**【実務経験】**

近藤 啓（臨床検査技師）、遠藤輝夫（臨床検査技師）、吉田 繁（臨床検査技師）、丸川活司（臨床検査技師）、高橋祐司（臨床検査技師）、高橋祐輔（臨床検査技師）、小野誠司（臨床検査技師）、沖野久美子（臨床検査技師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療現場での経験を活かし、各臨床検査の概要と意義について講義する。